

都市計画区域マスタープラン見直しに向けた 都市計画審議会専門委員会における検討テーマ（案）

都市計画区域マスタープラン見直しに向けた都市計画審議会専門委員会における検討テーマ（案）

検討テーマ① 区域区分の見直しについて

人口減少や高齢化、産業の衰退が進む中、地方都市及び多自然地域における地域活力の維持が喫緊の課題となっている。IC周辺や幹線道路沿道等の局地的な開発需要はあるものの、人口が減少し開発圧力が低下する成熟社会において区域区分の役割や必要性を改めて検討する。

【主な論点】

- 人口減少やIT化による地方回帰への意識の高まりといった社会経済情勢の変化や市街化調整区域の土地利用に関する課題、地域の活力維持・活性化の観点等を踏まえた区域区分制度のあり方や役割
- 阪神間、東播、中播及び西播の各都市計画区域における区域区分の必要性（廃止した際の影響含む）
- 区域区分制度に替わる土地利用コントロール手法

検討テーマ② 都市計画区域マスタープランの基本的な方向性

人口減少や自然災害の激甚化、デジタルの進展等、社会経済情勢の変化に対応した持続可能な都市構造の実現に向け、兵庫の個性でもある都市中心部から郊外住宅地、地方都市、多自然地域といった多様な地域ごとの特性・特色や課題に対応した都市計画の方向性を検討する。

【主な論点】

- 持続可能な都市構造の実現に向けた地域ごとの方針（都市機能の立地・連携、交通ネットワーク 等）
- 個性を磨き、地域の魅力を高めるまちづくりの考え方（地域資源の活用、IR・マゼットの促進 等）
- 災害ハザードエリアにおける、発生リスクに応じた防災・減災まちづくりの考え方